

活動報告書

崎枝集落の伝統文化と伝統行事の継承

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

主催 崎枝公民館
地域リーダー 立津葉子

■活動日■

- 1 龍宮祭 5月27日
- 2 豊年祭 8月3日
- 3 芋まつり 10月29日
- 4 拝殿など御嶽周辺施設整備 4月19日、5月17日、6月21日、7月26日、
9月27日、10月26日、12月6日、1月24日、2月20日
- 5 クワンソウなど供物の栽培 6月20日
- 6 民具づくり体験 12月20日
- 7 「崎枝の祭祀儀礼」冊子の作成、「崎枝の宝物」増刷

■参加者、人数■

崎枝住民約100名

■関連事業■

なし

■基金事業を活用した理由■

崎枝集落は八重山民謡にも謡われる歴史ある地域であり、自由移民として開拓した先達の思いが今なお残っております。現在、崎枝の住民の半数以上が移住者となり、崎枝出身者の高齢化も進んでおります。その中で、伝承されている行事や文化を地域住民が理解を深めること、そして次の世代につなげていくことへ寄与する取り組みに対し、基金事業を活用させていただいております。定期的な土地改良施設等周辺の御嶽の草刈り清掃作業や、豊年祭における崎枝を謡った民謡の奉納踊りなど、地域住民が力を合わせていくことの連続が、伝統文化や行事の継承に繋がっております。崎枝集落は小規模集落であり、住民会費のみで行えることは限られております。この事業を活用することで次の世代を見据えた新たな取り組みを行っていきます。

■活動内容■

- 1 龍宮祭、豊年祭、芋祭りなど祭事行事の開催
- 2 御嶽等周辺の整備、清掃
- 3 民具づくり体験
- 4 「崎枝の祭祀儀礼」冊子の作成、「崎枝の宝物」冊子の増刷

■活動効果■

地域住民が協力して行う活動が定期的にあることで、地元出身者と移住者の距離が埋まり連帯して地域を考えていくベースができ始めております。豊年祭をはじめとする祭事行事への参加者も増え、崎枝の伝統文化を大切にしようとする気運を感じるようになりました。

■活動費用■

県基金 963,000円
その他 600,477円

【写真集】①



御嶽等拝所周辺の草刈り及び整備作業①



御嶽等拝所周辺の草刈り及び整備作業②



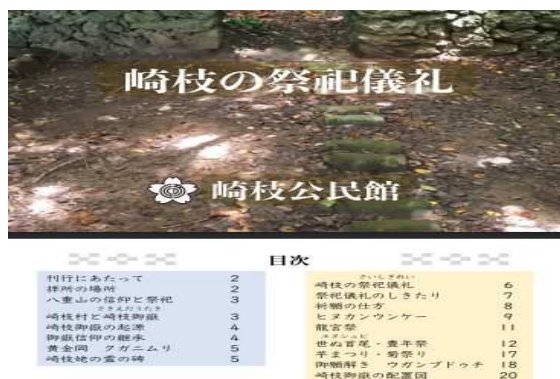
御嶽等拝所周辺の草刈り及び整備作業③



クワンソウ苗の生育管理



龍宮祭



「崎枝の祭祀行事」冊子



豊年祭① 旗頭奉納



豊年祭② お供えもの

【写真集】②



豊年祭③ 奉納舞踊（民具新調）



豊年祭④ 奉納舞踊



豊年祭⑤ 奉納舞踊



豊年祭⑥ PA（音響）



豊年祭⑦ 地謡披露



芋祭り



民具作り体験①



民具作り体験②

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【支出実績報告書】

支出項目		内 訳				金額（円）
		経費科目	規格	数量	単価	
県基金分内訳	謝礼金	地謡謝礼	人	5	5,000	25,000
		PA謝金	人	1	5,000	5,000
	委託費	民具作り体験	回	1	50,000	50,000
	需用費 消耗品費	消耗品費 パーランク・バチ	個	5	3,960	19,800
		消耗品費 四ツ竹（黒）	個	3	2,530	7,590
		消耗品費 女ジイファー	個	3	3,960	11,880
		消耗品費 男ウンザシ	個	2	3,960	7,920
		消耗品費 送料		1	1,430	1,430
		消耗品費 代引手数料		1	495	495
		消耗品費 力カン	枚	3	11,000	33,000
		消耗品費 胴衣 L	枚	2	8,600	17,200
		消耗品費 胴衣 M	枚	1	7,500	7,500
		消耗品費 舞踊衣装	着	5	13,000	65,000
		消耗品費 舞踊衣装 送料	個	1	2,000	2,000
		消耗品費 舞踊民具水汲み	個	1	4,000	4,000
		消耗品費 舞踊民具クバ笠	個	3	10,000	30,000
		消耗品費 タグ	個	6	330	1,980
		消耗品費 BMメリムトップソー	個	15	1,100	16,500
		消耗品費 ナイロンコート	個	5	1,470	7,350
		消耗品費 マキタバッテリー	個	3	19,800	59,400
		消耗品費 サイクルエンジンオイル	個	1	2,380	2,380
		消耗品費 クイックルワイパー	個	2	3,120	6,240
		消耗品費 クイックルワイエット	個	1	1,940	1,940
		消耗品費 シューズ入軍手	個	1	690	690

県基金分内訳

	消耗品費 カマ	個	3	2,480	7,440
	消耗品費 剪定刈込鋏	個	1	5,000	5,000
	消耗品費 ワタナイソ刃 70	個	3	4,000	12,000
	消耗品費 ワタナイソ刃 51	個	3	3,080	9,240
	消耗品費 竹ホーキ	個	3	480	1,440
	消耗品費 チリトリ	個	3	1,280	3,840
	消耗品費 バケツ	個	3	698	2,094
	消耗品費 箒	個	3	698	2,094
	消耗品費 軍手	個	3	498	1,494
	消耗品費 燃やさないゴミ袋	個	3	300	900
	消耗品 燃やすごみ袋	個	3	300	900
	消耗品費 クワンソウ苗	式	1	23,000	23,000
燃料費	燃料費 ガソリン	ℓ	20	180	3,600
	燃料費 ガソリン	ℓ	20	183	3,660
	燃料費 ガソリン	ℓ	20	197	3,940
	燃料費 ガソリン	ℓ	10	192	1,920
	燃料費 ガソリン	ℓ	10	176	1,760
食糧費	食糧費 草刈時飲料	ケース	8	1,176	9,408
	食糧費 消費税		1	752	752
印刷製本費	冊子作製 「祭祀儀礼」	冊	100	1,800	180,000
	印刷消費税		1	18,000	18,000
	冊子増刷 「崎枝の宝物」	冊	100	2,000	200,000
	印刷消費税		1	20,000	20,000
賃借料	音響レンタル費	式	1	17,200	17,200
	枝打ち高所作業車	台	1	32,000	32,000
	賃借料消費税		1	3,200	3,200

県基金分内訳	その他	クリーニング代	着	10	1,300	13,000
		消費税		1	1,300	1,300
	計					963,477
その他						600,000
支出合計						1,563,477
収入内訳	県基金		(62 %)		963,000	
	市町村基金		(%)			
	その他		(38 %)		600,477	
	収入計					1,563,477

※事業対象経費であるか確認しつつ作成してください。

活動報告書

豊年祭を通じた農村集落ならではのつながりづくり

■市町村名■

石垣市

■活動主体または地域リーダー■

(主体) 白保公民館
(地域リーダー) 柳田裕行

■活動日■

6月中旬から3週間にわたり住民所有の田んぼで綱引き用の稲わら集めを行い、7月6日「綱力キ」が多数の住民が参加して、取り組みが本格的にスタートする。7月21日が豊年祭（ムラプーリン）の本番。雨まじりの天候での開催であったが、多くの参加者、観覧客でにぎわった。

■参加者、人数■

住民参加はのべ500人。観客はのべ1200人程。来場者の車は白保小学校校庭の臨時駐車場に収まらず、急遽、白保公民館ゆらていく広場も使用した。

■関連事業■

なし

■基金事業を活用した理由■

豊年祭は、最も重要な農業関連の奉納行事であり、地域の農業従事者を中心に多数の一般の住民の参加があり、地域のつながりづくりには絶好の機会。消耗品経費等に活用することで、住民の負担を軽減し参加しやすい祭を目指した。

■活動内容■

当日の天候には恵まれなかったが、準備から実施、片付けまで滞りなく実施できた。“稲の一生”をテーマにした奉納行列は、石垣島でも白保だけの独特な伝統行事。子供から大人まで男女問わず、多くの住民が参加できた。

■活動効果■

住民の経済的な負担を軽減し、住民参加のハードルを下げる事ができた。農業従事者と一般の住民とが協力し、“稲の一生”の奉納行事を行うことで農村地域であることを実感でき、共同体意識が育まれたと感じた。

■活動費用■

1,697,000円

【写真集】①



(高所作業車による枝打ち)



(大綱力キに集めた稲わらと足場)



(多くの住民が参加した大綱力キ)



(大量のわら縄で仕上げた大綱)



(大綱移動・配置)



(仮設トイレ設置)



(旗頭奉納①)



(旗頭奉納②)

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【写真集】②



(ミルク行列)



(奉納行列“稲の一生”①)



(奉納行列“稲の一生”②)



(五穀の種子の献上)



(後片付け)



(ドラ①)



(ドラ②)



(締め太鼓とバチ)

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【支出実績報告書】

支出項目		内 訳				金額（円）
		経費科目	規格	数量	単価	
県基金分内訳	①ガーゼさらし	消耗品		20	1,628	32,560
	②足袋	消耗品		30	2,800	84,000
	③たび用靴下	消耗品		30	200	6,000
	④わら縄	消耗品		65	1,100	71,500
	⑤わら縄送料（5巻毎）	消耗品		13	1,781	23,153
	⑥わら縄消費税調整額	その他		1	-2	-2
	⑦カマス袋	消耗品		3	297	891
	⑧締め太鼓	消耗品		10	14,520	145,200
	⑨締め太鼓送料	消耗品		2	2,950	5,900
	⑩ドラ	消耗品		1	42,800	42,800
	⑪機材レンタル	賃借料		1	202,631	202,631
	⑫高所作業車	賃借料		1	30,800	30,800
	⑬足場	賃借料		1	59,000	59,000
	⑭音響	委託費		1	99,500	99,500
	⑮クリーニング代	その他		1	189,530	189,530
計						993,463
その他						704,134
支出合計						1,697,597
収入内訳		県基金	（ 58 %）			993,000
		市町村基金	（ %）			0
		その他	（ 42 %）			704,597
		収入計			1,697,597	

※事業対象経費であるか確認しつつ作成してください。

活動報告書

コロナ禍からの地域づくりの再興とリーダーの育成

■市町村名■

石垣市白保村

■活動主体または地域リーダー■

特定非営利活動法人夏花 地域リーダー：米盛拳

■活動日■

沖縄県東村視察日：2025年5月24日～5月25日＜委託契約締結前活動・経費対象外＞
第1回開催日：2025年6月21日
第2、3回合同開催日：2025年11月29日
第4回開催日：2026年1月23日

■参加者、人数■

沖縄県東村視察：2名＜委託契約締結前活動・経費対象外＞
第1回：勉強会参加者9名（白保住民7名、上村、米盛）
第2、3回：勉強会参加者7名（白保住民4名、上村、山城理事長、米盛）、個別指導2名（述べ3名）
第4回：勉強会実施5名（白保住民3名、上村、米盛）、個別指導0名

■関連事業■

なし

■基金事業を活用した理由■

NPO夏花は、白保公民館が2006年に制定した「白保村ゆらていく憲章」に基づく村づくりを推進するために、白保村ゆらていく憲章推進委員会、白保魚湧く海保全協議会、白保日曜市運営組合が協議し、設立した特定非営利活動法人です。

これまで石垣島島内随一の耕地面積を有する「白保」の農村文化の継承と地域活性化、サンゴ礁保全への貢献を図る取り組みとして、赤土流出防止のためのグリーンベルト植栽活動と併せて、グリーンツーリズム（農家体験・民泊）、6次産業化（グリーンベルト植物を原料とする特産品開発、白保日曜市の開催）に取り組んで来ました。コロナ禍以前は民泊を含む大学や企業のボランティア・研修プログラムの受け入れがありましたが、コロナ禍で活動が停滞し、以前の状況には戻っていません。

本事業は、グリーンツーリズムを通じた農地とサンゴ礁環境の保全の両立を牽引する地域リーダーの育成と事業再構築を図るための地区内協力者の掘り起こしと組織化を図ることを目的としています。

■活動内容■

(1) 先進地視察（5月）

地域リーダー育成の対象者である米盛拳と、NPO夏花副理事長の上村真仁が、沖縄県東村において先進地視察を実施した。

本視察は、長年グリーンツーリズムに取り組んでいる公益社団法人沖縄県地域振興協会 プログラムオフィサー 山城定雄氏のコーディネートにより実施され、東村におけるグリーンツーリズム立ち上げ期の経緯や、農家の収入向上を目的とした取り組みについて説明を受けた。

また、現在修学旅行生を中心に年間200名以上を受け入れている農家民泊の現状について説明を受けるとともに、実際に受け入れ農家が訪れる施設（東村内のダム、博物館等）の視察を行った。

併せて、農家民泊の仲介及び受け入れを担うNPO法人東村観光推進協議会の担当者とも面会し、運営上のルール作り、受け入れ農家住宅の事前確認、運営上の課題等について具体的な説明を受けた。

なお、締結前実施につき経費対象外活動となります。

(2) 勉強会の実施

第1回勉強会（6月）

白保村しらほサンゴ村において、公益社団法人沖縄県地域振興協会 プログラムオフィサー 山城定雄氏を講師として招聘し、「沖縄県農村ふるさと活性化事業 勉強会（第1回）」を実施した。

参加者は計9名であった。

勉強会では、東村における住民主体の地域づくりの事例を紹介いただき、身の丈に合った地域づくりの重要性や、都市部の子どもたちを対象とした自然・農業体験による交流人口拡大の可能性について講話いただいた。

参加者からは、「白保村にも魅力的な資源があるので活用していきたい」「民泊実施にあたっては、既存の民宿との調整が必要である」などの感想が挙げられた。

第2回・第3回勉強会（11月合同開催）

当初9月に第2回勉強会を予定していたが、第1回勉強会の内容を踏まえ、白保村における資源活用のビジョン形成と、グリーンツーリズムの実務を併せて学習することが有効であるとの山城定雄氏からの助言を受け、第2回・第3回勉強会を11月にしらほサンゴ村にて18時～21時の枠組みの中で合同開催とした。

講師として、山城定雄氏に加え、東村観光推進協議会の小田晃久氏を招聘し、参加者は計7名であった。

18時から山城氏に講和をしていただき、農家民泊受け入れ時のルール（海には入らせない、子どもを一人にしない等）について説明があった。ルール作成時には運営側だけできめることはせず受け入れ農家さんと協議をしながら作成してきたという経緯を聞かせて頂いた。また、受け入れた子どもを一人にしまったことで家を抜け出して居なくなってしまう可能性などがあることを説明してもらったことで受け入れ側が責任感や危機管理を意識することの重要性を共有することが出来た。

その後、19時半から小田氏より運営側の視点から、受け入れ時の作業内容、食事提供、体調不良時の対応、子どもたちを「お客」ではなく「家族」として迎える意識の重要性等について講話をいただいた。受け入れ時での作業内容では基本的に受け入れ農家同士と一緒に作業することを禁止し、各受け入れ先の農地での草むしりや収穫時期が被れば収穫体験をさせたりしていることを説明していただいた。宿泊時に提供する食事は基本的に家庭料理や沖縄ならではの食事を提供するようにしており、インスタント食品や外食はさせない方針ということを教えて頂いた。体調不良の子どもが出た場合には家庭にある医薬品は使用せず、マニュアルに則った連絡を行い、適切に対応することを教えていただいた。

参加者からは、「東村の事例を参考に白保でのやり方を模索していきたい」「まずは少人数から受け入れを始めたい」「農家民泊が難しい場合は一棟貸し民宿の活用も検討したい」などの意見や感想が出された。

第4回勉強会（1月）

1月にしらほサンゴ村において、「沖縄県農村ふるさと活性化事業 勉強会（第4回）」を実施し、講師として東村観光推進協議会の小田晃久氏を招聘した。参加者は計5名であった。

本勉強会はしらほサンゴ村で18時半から実施し、これまでの勉強会内容の振り返りを行いながら、東村観光推進協議会の組織体制、農家民泊を含めたツアー運営方法、現在実施しているグリーンツーリズムツアーの内容や造成方法、集客手法について講話をいただいた。

これまでの振り返りでは、11月に実施した内容を踏まえながらさらに深く東村観光推進協議会の体制や組織図などを説明して頂いた。

農家民泊を含めたツアーの運営方法の講和では、東村観光推進協議会が新たに作成したツアーをモデルに新事業の作成方法やネットワークを使用した集客方法を教えて頂いた。

その後、白保村において同様の取り組みを実施するための課題や可能性について、参加者を交えた質疑応答及び意見交換を行った。

（3）個別指導の実施

第2回・第3回個別指導（11月合同開催）

11月には、山城定雄氏及び小田晃久氏の協力のもと、個別指導を実施した。

・一人目

受講者：大山佐知 職業：民宿経営とサトウキビ農家 住所：石垣市白保17 指導者：山城定雄氏

個別指導一件目は白保村で民宿経営とサトウキビ農業をされている大山さん。東村における民宿と農家民泊の調整方法等について意見交換を行った。白保村では一棟貸し民宿が増加している現状を踏まえ、今後は施設オーナーとの連携の必要性について確認がなされた。民宿経営をされている観点から農家民泊が立ち上がった際の民宿との連携の取り方について、東村の現状を踏まえながら指導して頂いた。

質問として、白保村では民宿や一棟貸しの民泊が増えてきているが、農家民泊が盛り上がった場合に民宿の利用数が減ったりする事例はありますか？ということでしたが、指導者の山城氏からは、現在東村では民宿の数が少ないため、民宿の利用数に影響は出ていないが、白保村で民宿が増えているということなら、農家民泊を始める前に民宿のオーナーさん達と話し合っって白保村なりのやり方を模索する必要がある。と指導いただいた。

・二人目

受講者：美里春樹 職業：野菜農家 住所：石垣市白保212-3 指導者：小田晃久氏
山城定雄氏

個別指導二件目は、白保村で生まれ育ち、白保村で親の家業を引き継いで農業をされている美里さん。実際に美里さんの農地に訪問させていただき、現地を見ながら受け入れ可能な体験内容、安全管理（怪我・熱中症対策）、農家1軒あたりの受け入れ人数の目安等について、山城氏と小田氏から具体的な指導が行われた。

質問として、農家としての立場から農家民泊を受け入れた際にどういことをさせたらいいのか？どういことに気を付けるべきか？ということでしたが、小田氏からは、草刈りや収穫やビニールハウスの張り替えなど出来そうなことは体験としてさせたいほうが良い。面白いことも、キツイ体験も子どもたちが経験することが大事ということを経験していただき、気を付けるべきことについては、草刈りなどで刃物を持たず場合は、体験をさせる前の事前説明をしっかりと行い、体験をさせる時に目を離さないことを徹底すると指導いただいた。また、ビニールハウスで体験実施するときには、冬場でも熱中症などに気を付け、こまめな水分補給の必要性を指導して頂いた。

また、受け入れ人数について山城氏から指導をいただき、原則として受け入れ側に協力者などが居る場合は受け入れ人数に上限は無いが、自身が管理できる人数を把握し過度な受け入れをしないように意識することなどを指導いただいた。

本事業を通じて、白保村におけるグリーンツーリズム再開に向けた具体的な知見の共有と、地域内における機運醸成を図ることができた。

今後は、少人数での受け入れ体制の構築や、既存宿泊施設との連携を模索しながら、白保村の実情に即した持続可能なグリーンツーリズムの実施に向け、段階的に取り組みを進めていく予定である。

■活動費用■

415,176円（内、県基金369,000円）

【写真集】①



5月東村視察：観光推進協議会



5月東村視察：民泊受け入れ
農家さんインタビュー



6月：第一回勉強会 山城氏講和



6月：第一回勉強会 質疑応答



6月：第一回勉強会 山城氏講和



11月：第二、三回個別指導
大山さん（指導者山城氏）



11月白保：第二、三回個別指導
大山さん(指導者山城氏)



11月：第二、三回個別指導
美里さん（指導者山城氏・小田氏）

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【写真集】②



11月白保：第二、三回個別指導 美里さん(指導者山城氏、小田氏)



11月白保：第二、三回個別指導 美里さん(指導者山城氏、小田氏)



11月：第二、三回勉強会
山城氏 講和



11月：第二、三回勉強会
小田氏 講和



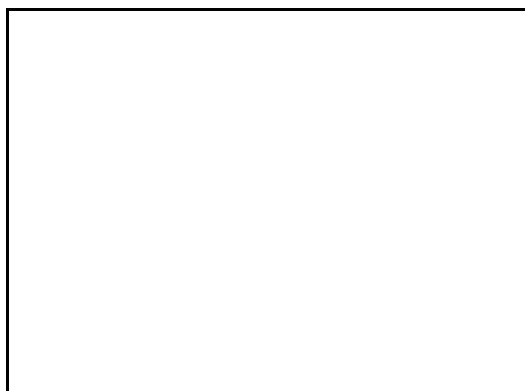
11月：第二、三回勉強会
質疑応答



1月：第四回勉強会
小田氏 講和



1月：第四回勉強会
質疑応答



(写真の解説を記入)

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【支出実績報告書】

支出項目		内 訳				金額（円）
		経費科目	規格	数量	単価	
調査旅費（費用弁償）	①山城氏 6月21日実施分 勉強会航空券往復			1	22,529	22,529
	②山城氏 6月21日実施分 旅行雑費			2	400	800
	③山城氏 6月21日実施分 宿泊費			1	7,300	7,300
	④山城氏 11月29日実施分 勉強会航空券往復			1	23,260	23,260
	⑤山城氏 11月29日実施分 旅行雑費			2	400	800
	⑥山城氏 11月29日実施分 宿泊費			1	7,800	7,800
	⑦小田氏 11月29日実施分 勉強会航空券往復			1	29,630	29,630
	⑧小田氏 11月29日実施分 旅行雑費			2	400	800
	⑨小田氏 11月29日実施分 宿泊費			1	7,800	7,800
	⑩小田氏 1月23日実施分 勉強会航空券往復			1	16,572	16,572
	⑪小田氏 1月23日実施分 旅行雑費			2	400	800
	⑫小田氏 1月23日実施分 宿泊費			1	7,800	7,800
	⑬勉強会講師謝礼 山城氏 6月21日実施分			1		45,000
諸謝金	⑭勉強会講師謝礼（一部前払） 山城氏 11月29日実施分			1		15,000
	⑮勉強会講師謝礼 山城氏 11月29日実施分			1		60,000
	⑯勉強会講師謝礼 小田氏 11月29日実施分			1		60,000
	⑰勉強会講師謝礼 小田氏 1月23日実施分			1		45,000
	⑱施設使用料（6月）			1		5,500
調査事務費（会場使用料）		⑱施設使用料（6月）		1		5,500

	⑱施設使用料（11月）		1		8,250
	⑳施設使用料（1月）		1		4,125
調査事務費（その他）	㉑振込手数料（全4回）		4	165	660
計					369,426
その他					45,750
支出合計					415,176
収入内訳	県基金	（ 88.88 %）			369,000
	市町村基金	（ %）			
	その他	（ 11.12 %）			46,176
	収入計				415,176

※事業対象経費であるか確認しつつ作成してください。

活動報告書

(活動タイトル)

■市町村名■

与那国町

■活動主体または地域リーダー■

主 催 : 与那国小学校PTA
共 済 : 与那国町まちづくり課
地域リーダー : PTA会長 本田 玲奈

■活動日■

①稲作体験活動 → 観察(4~5月) 収穫(6月) 播種・苗広げ(2月)
田植え(3月)

■参加者、人数■

与那国小学校 児童 46名

■関連事業■

関連事業なし

■基金事業を活用した理由■

稲作農業体験を行うことで、農業の大切さや楽しさ、大変さを実感してもらい農業への理解を深めるため。また、本校児童が実際に農業を体験することにより、地域農業への理解と親しみを持ち、発達に応じたキャリア教育を関連させて指導するため。

■活動内容■

①稲作体験活動(播種・苗広げ作業・観察・田植え・稲刈り)

■活動効果■

- ・農業の大切さや大変さを理解することができた。
- ・地域の「人・もの・文化・自然」と関わることで、地域の一員としての関わりについてかんがえることができた。
- ・友達と協力して汗を流し、粘り強く農業体験をすることができた。
- ・探究的な学習を通して、感謝の気持ちを持って活動することができた。

■活動費用■

0円 (R7活動期間中の実支出額なしのため)

【写真集】①



播種体験作業



播種体験作業



播種体験作業



播種体験作業



苗広げ体験作業



苗広げ体験作業



苗広げ体験作業



苗広げ体験作業

※16枚程度の写真を抜粋して、解説を記入してください。その他の写真はデータで提供願います。

【写真集】 ②



田植え体験作業



田植え体験作業



稲刈り体験



稲刈り体験



稲刈り体験



稲刈り体験



稲刈り体験



稲刈り体験

【支出実績報告書】

支出項目		内 訳				金額（円）
		経費科目	規格	数量	単価	
県基金分内訳						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計						0
その他						0
支出合計						0
収入内訳		県基金	(%)			0
		市町村基金	(%)			0
		その他	(%)			0
		収入計				0

※事業対象経費であるか確認しつつ作成してください。

(別記様式第6－2号)

活動報告書

(久部良中学校農業体験活動)

■市町村名■

与那国町

■活動主体または地域リーダー■

主催：久部良中学校

共済：与那国町役場 まちづくり課

■活動日■

令和7年10月ビニールハウス組み立て

令和7年11月土購入・花壇整備・土づくり

令和7年11月プランター種まき

令和7年12月土購入・花壇整備【正門】・サンダンカ

令和7年1月プランター（インパチェンス）（ペゴニア）栽培

令和7年2月ねぎ・ミニトマト栽培

令和7年 2/16 ねぎ収穫・ミニトマト栽培

令和7年 2/17 正門前整備（1年生）

■参加者、人数■

久部良中学校 26人

■関連事業■

関連事業無し

■基金事業を活用した理由■

農作物の育成を通し、第一次産業（農業）の経験を行う。

作物を育成する面白さや収穫するまでの過程を知り、収穫の喜びなどを通して、感謝の気持ちをもたせる。

また、農業を通して共同作業する素晴らしさや楽しさを実感する。

■活動内容■

①準備作業（堆肥購入・花壇整備・プランタ作成・ビニールハウス組立）

②農作業育成作業

（ねぎ・トマト植え付け、間引き、追肥、収穫）

（ポット種まき、水やり、雑草除去）

■活動効果■

- ・農業の大変さ厳しさへの理解が得られた
- ・生徒同士協働することができ、役割分担や活動を自主的に行動することができた。
- ・農業体験活動を通して、今後の生活に活かせる知識を得ることができた。
- ・社会に必要な知識や経験を他者に伝える、積極的に関わっていくことができた。

■活動費用■

- ・41,000円

【写真集】 ①



(ビニールハウス組立・土づくり①)



(ビニールハウス・ポッド種まき②)



(インパチェンス)



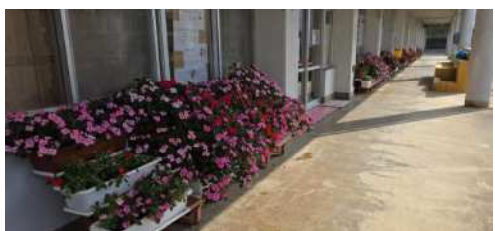
(ねぎ・ハーブ)



(堆肥・土)



(水やり)



(校舎前廊下)



(ねぎ収穫)

【写真集】 ②



(一輪車購入)



(トマト栽培 (寄贈))



(正門前整備)



(正門前整備)



(ペチュニア)



(ベゴニア)



(植え付け完了)



(植え付け)

※ 16枚程度の写真は抜粋して、解説を記入する。その他の写真はデータで提供下さい

【支出実績報告書】

支出項目		内 訳				金額（円）
		経費科目	規格	数量	単価	
県基金分内訳	花・野菜の土			20	853	17,060
	手押し二輪車			2	8,905	17,810
	木酢液			2	983	1,966
	苦土石灰			3	1,336	4,008
	プラポット			2	78	156
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
	計					41,000
その他						
支出合計					41,000	
収入内訳		県基金	(%)			
		市町村基金	(%)			
		その他	(%)			
		収入計			0	

※事業対象経費であるか確認しつつ作成する